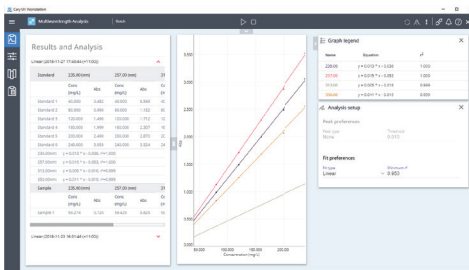




データインテグリティの 信頼性を向上

Agilent Cary 3500 UV-Vis 向け
Cary UV ワークステーションソフトウェア

Agilent
OpenLab



Cary UV ワークステーションは、シームレスなメソッド設定と分析機能を提供します。安全性の高いデータベースストレージにすべての電子記録を保存するため、データインテグリティを確保できます。

分析のワークフローをサポートしながら世界的な規制項目の遵守を 支援するソフトウェア

アジレントは、医薬品の品質管理を長年サポートしてきました。革新的な Cary 3500 UV-Vis の導入により、標準、参照物質、サンプルの同時測定といった QC 機能が実現します。

機器に同梱の Cary UV ワークステーションソフトウェアは、Agilent OpenLab ソフトウェアと連携するように設定でき、ユーザー管理、セキュリティ設定、電子署名ワークフロー、ローカルでの安全なデータ管理などに利用できます。これにより、ラボが 21 CFR Part 11 や EU Annex 11 の要件を満たすために必要な機能が得られます。

コンプライアンスの実現

規制項目の遵守

- コンプライアンス確保と規制違反リスクの軽減に必要な機能が充実

データインテグリティの確保

- 豊富な技術管理機能により、手順管理の必要性を最小限に抑え、ユーザーによるデータの削除や改ざんを防止

監査証跡レビューの簡素化

- コンピュータで生成されるタイムスタンプ付きの安全な監査証跡により、すべての活動を自動的に追跡

入念なアクセス制御

- 職務とデータタイプに基づいてアクセス権限を割り当てることで、適切な人員に適切な情報への適切なアクセス権を付与

運用の強化

内蔵のヘルプ & ラーニングセンターを使用した短期間での研修で、トレーニング時間の短縮とコスト削減が可能です。シンプルなワークフローで重要なパラメータのみを設定し、データを即座に意味のある結果に変えることができます。

高度な監査証跡レビュー

Cary UV ワークステーションソフトウェアには、監査証跡レビュー用の高度なツールが標準搭載されています。これには、テキスト検索やカテゴリ検索、データやユーザー名によるフィルタリングなどがあります。監査証跡レビューを電子記録の一部として文書化することも可能です。

電子署名ワークフロー

Cary UV ワークステーションソフトウェアを使用すると、電子署名を複数の権限レベルで実行できます。電子署名には、署名者の氏名と署名日時が表示されます。電子署名の理由は事前に定義でき、電子署名とともに記録して、電子記録または印刷媒体のいずれかで確認できます。

ワークステーション構成

Cary UV ワークステーションソフトウェアなら、ユーザー管理、セキュリティ設定、ローカルの安全なデータベースが単一の PC システム上で実現します。



Cary 3500 UV-Vis 分光光度計の独自機能により実験計画を**簡素化**

- 8つのキュベット位置で全波長範囲を同時に測定
- 冷却水循環装置が不要で騒音のない空冷式ペルチェシステムにより、サンプル温度を0～110°Cで制御

より多くのサンプルを迅速に測定することで**生産性**が向上

- 毎秒250ポイントのデータ採取レートにより、重要な情報の見落としを防止
- 完全に同じ条件で、標準、サンプル、コントロールを同時に測定

包括的なソリューションによって**信頼性**を向上

- 電子記録の安全なデータベースストレージにより、21 CFR Part 11とEU Annex 11のコンプライアンスを実現
- ユーザー/アクセス権限、ソフトウェアライセンス、電子署名、セキュリティ設定を包括的に管理
- 優れた機器性能と内蔵の自動テストスイートを活用して薬局方の規制を遵守
- アジレントの包括的なコンプライアンスサービスポートフォリオにより、システムの適格性を評価

ホームページ

www.agilent.com/chem/jp

カスタムコンタクトセンタ

0120-477-111

email_japan@agilent.com

本製品は一般的な実験用途での使用を想定しており、医薬品医療機器等法に基づく登録を行っていません。本文書に記載の情報、説明、製品仕様等は予告なしに変更されることがあります。

アジレント・テクノロジー株式会社

© Agilent Technologies, Inc. 2019

Printed in Japan, February 19, 2019

5994-0740JAJP